

圏外のアンテナ



[和菓子の日]の巻

ラジオでDJの女性が「外出自粛中、日本茶と和菓子にハマりました。来週、6月16日は、和菓子の日で～す」と話していた。

え、和菓子だったら、「わ(8)が、し(4)」でしょ。どうして8月4日じゃないわけ？と、思わずつつこむ、語呂合わせマニアのわたし。そこか？！

調べてみると、語呂合わせどころではない、由緒正しい由来があった。

平安中期、天然痘のまん延を憂えた仁明(にんみょう)天皇は、改元を断行。新しい元号=嘉祥(かしょう)元年の6月16日に、16個の菓子を神に供えて疾病の収束を祈ったという。「和菓子の日」はこの故事に因んで制定されていた。

なるほど。もしコロナ禍の今が平安時代だったら、改元が検討されてたところね。などと考えながらネットサーフィンをしていると、面白いデータに遭遇した。総務省統計局の「家計調査」である。

1世帯あたり1年間にお菓子をいくら購入したか。全国の県庁所在地と政令指定都市のランキングが載っている。3年前から昨年までの平均をとったもので、最新のデータのようだ。

なにげなく、福島市を探しはじめて、驚いた。

和菓子部門で、まんじゅう3位、ようかん10位、その他の和生菓子が12位。

和菓子以外でも、アイスクリーム・シャーベット3位、プリン7位。いろいろなお菓子の購入額で、全国の上位につけている。

そして、菓子類の購入額総合ランキングでは、金沢市に次いで、何と、輝く全国2位にランクイン！

知らなかった。福島市は、全国名うてのお菓子大好きシティーだったのね。どおりで、お菓子好きに悪い人は少ないっていうし。夏目漱石も、芝田山親方も、高見沢俊彦も、無類の甘党だし。

あらら、関係ない人たちまで引き合いに出して。この思考パターン、何という身びいきであろうか。

ふるさとは、時々舌と胃袋をうずかせる、甘〜い和菓子に、どこか似ている。

=2020年6月12日掲載=

菓子類	2018年(平均)		2019年(平均)	
	金額	順位	金額	順位
0 全国	84,824	全国	677	全国
1 金沢市	103,653	佐賀市	1,344	鳥取市
2 福島市	95,732	さいたま市	1,266	鹿児島市
3 さいたま市	94,994	福井市	1,157	福島市
4 大津市	94,793	静岡市	1,024	岡山市
5 川崎市	94,191	京都市	1,023	山口市
6 山形市	93,978	山形市	1,013	高松市
7 東京都港区	93,371	東京都港区	972	高知市
8 仙台市	92,715	宇都宮市	895	前橋市
9 津市	91,964	仙台市	888	熊本市
10 福島市	91,484	福島市	883	名古屋市